

雄物川の減災に係る今後の取り組み予定について

・秋田市	1
・横手市	3
・湯沢市	5
・大仙市	7
・仙北市	9
・美郷町	11
・羽後町	12
・東成瀬村	13
・秋田県総務部	14
・秋田県建設部	15
・秋田地方气象台	17
・東北地方整備局	18

平成30年7月3日

第6回 雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会

H30年度の取り組み実施予定（秋田市）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ 危機管理型水位計を設置予定（建設部）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 施設の点検による維持管理（各部局）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ 雄物川洪水対応演習（H30.4.20実施済）

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 雄物川流域の小学校5年生を対象にした防災教材の提供

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 配慮者利用施設の所有者等への避難確保計画の作成支援

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 雄物川下流における避難勧告の発令等に着目したタイムラインの
自主防災組織等への周知・啓発（防災講話、訓練など）



雄物川洪水対応演習（TV会議）



自主防災組織等への周知・啓発（防災講話）

H30年度の取り組み実施予定（秋田市）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒ 秋田市洪水ハザードマップのホームページ公開（H29.3実施済）
- ・ 住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒ 防災ネットあきたへの登録推進、防災FMラジオの配布先の拡充
- ・ 想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
⇒ 秋田市洪水ハザードマップの作成（H29.3配布・公開済）

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒ 雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会への参加
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ 秋田市水防訓練の実施（H30.6.10実施済）
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
⇒ 国や関係機関等とのパトロールの実施
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
⇒ 水防倉庫の確認

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・ 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒ 秋田市水防訓練の実施（H30.6.10実施済）



防災FMラジオ（秋田市緊急告知ラジオ）



秋田市水防訓練（月の輪工法）

H29年度の取り組み状況（横手市）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成周知

⇒ H29年度の実績

■横手市防災マップ改訂に伴う住民説明会

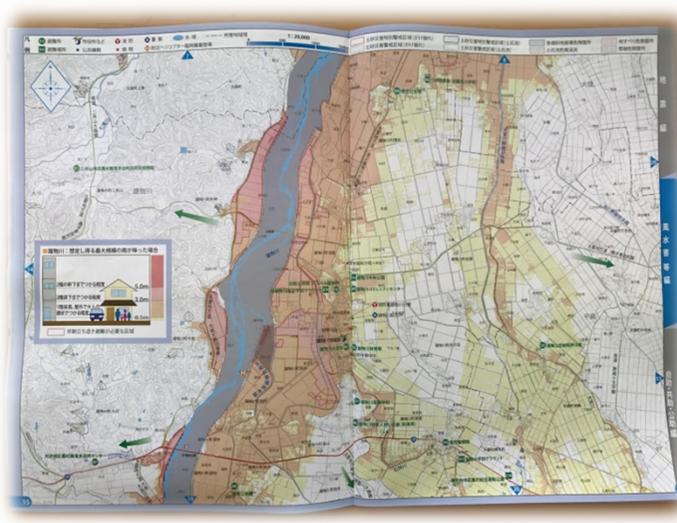
- 1 開催日時 平成29年10月31日（火）～12月25日（月）
- 2 参加人数 自治会役員、消防団幹部、民生児童委員、地区住民（地元市会議員）
- 3 実績 28ヶ所 386名

11/17 住民説明会（金沢孔城館）



■改訂された防災マップを活用した事業の展開

平成30年3月改定。全戸配布のほか、市関連施設等へ配備。



写真上：7/22 大森町の洪水被害
写真左：横手市防災マップ

H30年度の取り組み実施予定（横手市）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○市街地、公園などの雨水排水系統と流量を調査、対策方法を検討し、対策工事を実施

⇒横手地域内3か所、十文字地域内1か所の調査を予定。

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発生時の迅速かつ確実な避難に関する取り組み

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取り組み

・改定された防災マップを活用した防災意識及びマップの内容の認知度向上に係る取り組み

⇒消防団（水防団）を対象とした地区防災マップと地区防災計画策定要領の講習の実施

⇒教育委員会と連携した防災教育と、自治会含む各団体へ向けた防災講話及びマップ説明の実施

⇒平成30年5月1日号市報への特集記事掲載（4ページ）併せて コミュニティFMによる告知（5月第1週）

⇒平成30年5月1日～市HP内での防災マップを公表 閲覧及びダウンロードが可能に



住民による防災マップを用いた危険箇所・避難経路等の確認

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取り組み

・関機関が連携した水防訓練、連絡体制の再確認の実施

⇒平成30年5月27日（日）第12回東北水防技術競技大会（山形県大石田町）

⇒平成30年6月2日（土）横手市水防訓練（横手市雄物川町地内）

・重要水防個所の合同巡視

⇒平成30年5月29日（火）横手市内各所にて

・水防資機材の保有状況の確認 ⇒ 継続



5月1日号市報特集記事の一部

H30年度の取り組み実施予定（湯沢市）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

- ⇒ B C P 策定済み
- ⇒ 避難勧告等判断マニュアルの整備済み
- ⇒ 受援計画及び避難所開設マニュアルの整備済み

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
 - ⇒ 平成30年度「洪水対応演習」への参加 4月20日（金）
- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 - ⇒ 継続して実施
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒ 三関小学校と連携し、防災教育を実施予定
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
 - ⇒ 関係施設に対する避難確保計画作成に関する通知を予定

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
 - ⇒ 継続して運用
- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）
 - ⇒ 情報収集システムの導入について検討中

5月27日 湯沢雄勝地区水防訓練



H30年度の取り組み実施予定（湯沢市）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒ 検討中
- ・ 住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒ 防災行政無線整備に関する実施設計を本年度策定
- ・ 想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知
⇒ 平成29年2月に湯沢市防災マップを全戸配布済み

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒ 継続実施
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ 平成30年5月27日（日）水防訓練の実施（湯沢市角間地内）
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
⇒ 平成30年6月5日（火）重要水防箇所合同巡視の実施
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
⇒ 継続実施

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・ 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒ 国交省主催の洪水図上演習参加予定

6月5日 重要水防箇所合同巡視



H30年度の取り組み実施予定（大仙市）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易水位計等の基盤整備

⇒内水対策の常設排水ポンプ20インチ3基を設置

（大曲丸の内町、大曲丸子町、大曲大町、H30.6月設置完了）

⇒アンダーパスに手動遮断機を設置（4ヶ所）

（朝日町、大曲黒瀬町、大曲福見町、福田町、H30.7月上旬設置完了予定）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒BCPを策定済み



大曲丸子町に新設されたポンプの排水管

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 継続実施（中学校等における避難所開設訓練などの実施支援）

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 継続実施。対象施設127施設中117施設作成済み（H30.5.31時点）

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 継続実施



大仙市水防講習会「川倉工」の様子

H30年度の取り組み実施予定（大仙市）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す **情報伝達手段の多重化と周知**
(登録制携帯メール、防災ラジオ、TV、HP、SNS等)
 - ⇒ **防災ラジオ**を避難行動要支援者や自主防災組織等への無償配布
 - ⇒ **登録制携帯メール**の登録促進
- ・ハザードマップの作成、周知
 - ⇒ 平成29年12月に各地域版ハザードマップを全戸配布
 - ⇒ 平成30年度は**自主防災組織版ハザードマップ**の作成を促進 (作成経費を助成)

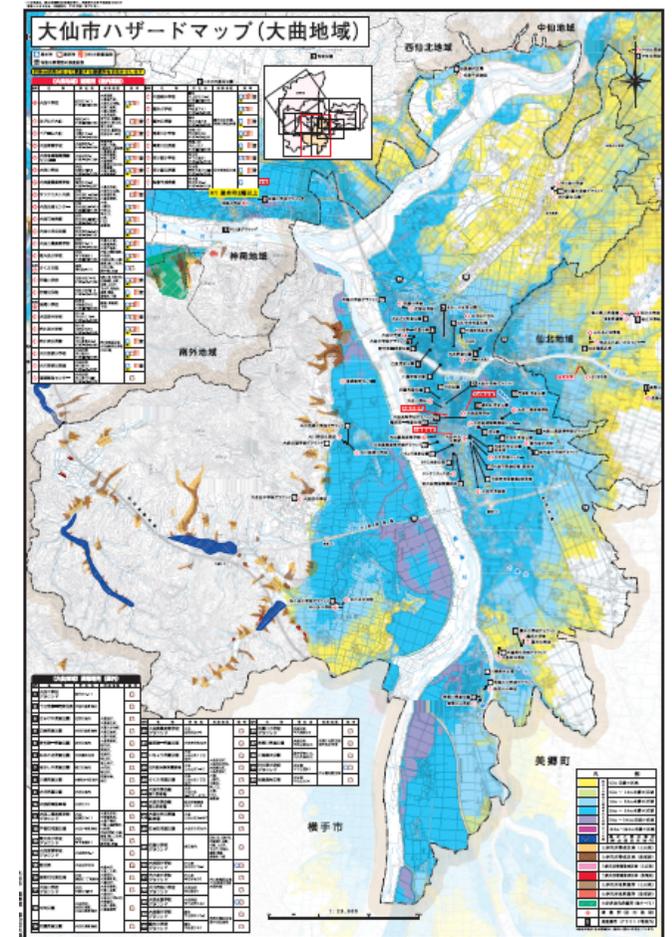
■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 雄物川減災対策協議会への参加 (継続実施)
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ **大仙市水防講習会で水防工法を訓練** (6/3開催済)
- ・重要水防箇所合同巡視
 - ⇒ 直轄河川の重要水防箇所の合同点検に参加(5/25参加済)

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
 - ⇒ 県と連携した福部内川水門及び排水ポンプ車操作訓練を実施 (7/2実施済)



H29.12月に改正した大仙市ハザードマップ（大曲地域版）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○再災害防止対策事業

⇒昨年度の水害等で被災した市が把握している箇所について継続して行っているものを含めて25箇所を同じ所から被災しないよう、再災害防止対策事業として平成30年度中に対策実施



再災害防止対策事業



大羅迦内沢川河川改修箇所。左右の護岸高が違うため、右岸側の溢水防止のため護岸嵩上工を施工など、25事業

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・大雨の度に、氾濫する河川のある地区を含め、市内の各自治会等に対し、自主防災組織の立ち上げ推進

⇒自主防災組織活動推進事業費補助金を交付し活動支援

・要配慮者利用施設の避難計画の作成と避難訓練の実施を支援

⇒直接の指導や避難計画雛形の提供により、早期に避難計画を策定し、計画に基づいた避難訓練の実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の避難行動に着目したタイムラインの運用

⇒継続実施

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充

⇒防災行政無線の難聴域の解消

⇒安心・安全メールの配信

⇒消防団等の広報車による巡回

・福祉避難所の設置及び運営に関する協定締結

⇒継続実施

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 継続実施
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ 関係機関が連携し、水防団の水防講習会を実施
 - ⇒ 消防協会支部総合防災訓練を実施、要配慮者利用施設や市民の避難の方法確認と訓練
- ・ 水防資機材の保有状況の確認
 - ⇒ 水防訓練時に確認



水防訓練



木流し工法



川倉工法

H30年度の取り組み実施予定（美郷町）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ **美郷町業務継続計画（BCP）を運用中**

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ **県振興局と危険個所の合同点検を実施予定**

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ **仙南小学校の5年生を対象に防災教育を実施**

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ **当該施設（町内1施設）に対し計画作成及び訓練実施を呼びかけ（4月）**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・3ヶ年計画の最終年として防災ラジオの全戸配布完了予定

⇒ **約2,000個の配布を予定**

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ **出水期前に各種水防工法の訓練を実施**

・水防資機材の保有状況の確認

⇒ **出水期前に水防倉庫及び各消防ポンプ庫の水防資機材保有数を確認**



■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
⇒ **住民参加による直轄河川の重要水防箇所の共同点検の実施予定**
- ・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
⇒ **施設担当課と連携し、該当施設へのさらなる促進**

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
⇒ 継続運用
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災行政無線・防災ラジオ）
⇒ **防災行政無線設備の更新並びに、防災ラジオ導入を検討予定**

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒ 継続実施
- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ **H30.5.27 湯沢市及び東成瀬村と合同で水防訓練の実施**
- ・重要水防箇所の合同巡視
⇒ **H30.6.5 直轄河川の重要水防箇所の合同巡視の実施**
- ・水防資機材の保有状況の確認
⇒ 継続実施



平成29年7月25日～8月1日
大洪水から70年・30年パネル展
(役場庁舎玄関ホール)



平成29年6月5日
直轄河川の重要水防箇所の合同点検

参加機関等
湯沢河川国道事務所・雄勝地域振興局
湯沢市・湯沢雄勝広域消防本部
羽後町副町長・消防副団長
河川流域集落長・生活環境課



平成29年5月28日
雄物川総合防災訓練への参加

H30年度の取り組み実施予定（東成瀬村）

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
⇒ 地震災害を想定した訓練を年2回実施（4月と11月の第1日曜日）
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
⇒ 東成瀬小学校と連携し、防災教育を実施予定

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒ **継続運用（防災行政無線）、新スプリアス対応の移動系無線機への更新**
- ・H30.3月にハザードマップを全戸配布（土砂災害・水害）

■ソフト対策【ねばる】^{②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化}

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ H30.5.27 湯沢市及び羽後町との合同水防訓練の実施
- ・重要水防箇所^①の合同巡視
⇒ 雄勝地域振興局建設部と合同巡視を実施

H30年度取組予定（秋田県総合防災課）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ H30.9月2日 県総合防災訓練を実施（北秋田市）

大雨災害等を想定した避難、避難所開設、物資空輸等

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 継続実施



H29.9.3 県総合防災訓練における堤防補強訓練（大館市）

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

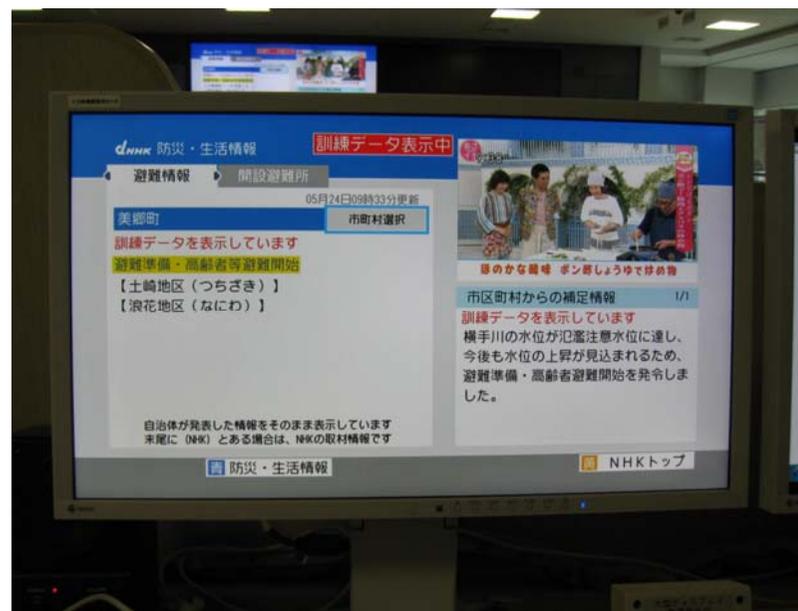
○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ H30.5月24日 「Lアラート」の配信訓練の実施



Yahoo! Japanに掲載された訓練用の避難情報



H30.5.24 Lアラート配信訓練におけるNHKデータ放送による情報伝達

H30年度取組予定 (秋田県河川砂防課)

■ハード対策 (避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備)

○簡易水位計等の基盤整備

- ・避難行動を支援する危機管理型簡易水位計の整備
- ⇒ H30～ 県管理河川減災対策協議会での水位計設置箇所の決定
- 危機管理型簡易水位計の整備

○避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- ・排水ポンプ車の追加配備
- ⇒ H30 秋田地域振興局に配備予定

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・水位上昇に着目したホットラインの実施
- ⇒ H29.6月～ 県管理河川減災対策協議会で策定したホットラインの実施
- ・住民の避難行動に着目した各市町村のタイムラインの運用
- ⇒ H30.2月～ 県管理河川減災対策協議会で策定したタイムラインの運用
- ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信
- ⇒ H28.10月～ 登録した市町村防災担当者向けに水位情報のメール配信
- ・非水位周知河川における避難判断水位の目安の検討
- ⇒ H30.5月～ 昨年7月豪雨の氾濫26河川のうち19河川が非水位周知河川だったことから、非水位周知河川の避難判断水位の目安の検討を開始

県管理河川のホットラインの実施状況

H29.7.22～23

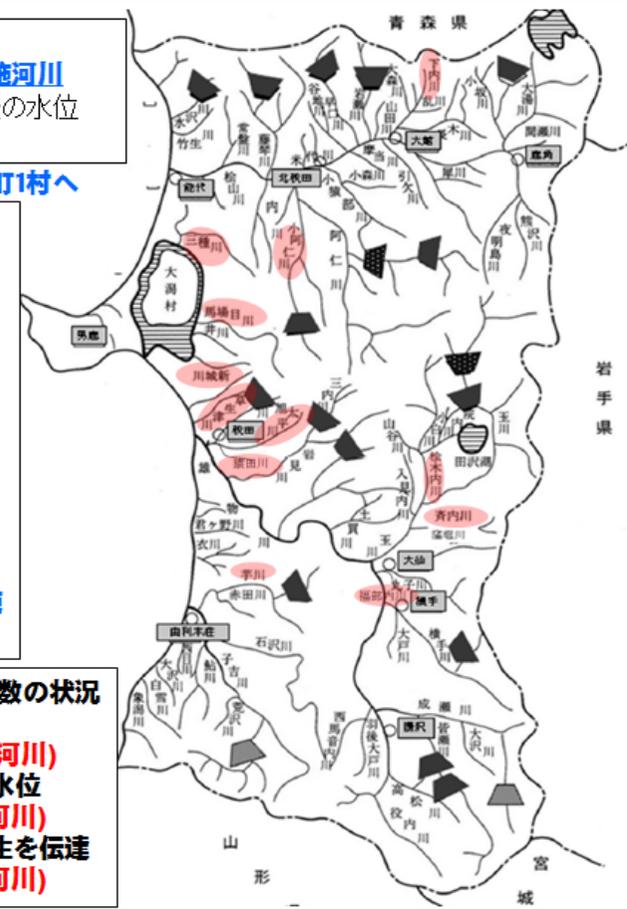
7月22日～23日
ホットライン実施河川
・現況水位、今後の水位見込みを伝達

6市3町1村へ

- ・下内川(1)
 - ・小阿仁川(2)
 - ・三種川(4)
 - ・太平川(2)
 - ・草生津川(1)
 - ・猿田川(2)
 - ・新城川(3)
 - ・馬場目川(8)
 - ・芋川(5)
 - ・福部内川(3)
 - ・齊内川(2)
 - ・桧木内川(3)
- 12河川36回実施
()内：実施回数

水位等伝達河川数の状況

- ①避難判断水位 → 12河川(5河川)
- ②うち氾濫危険水位 → 9河川(5河川)
- ③さらに氾濫発生を伝達 → 2河川(1河川)



H30年度取組予定（秋田県河川砂防課）

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 想定最大規模降雨による浸水想定区域の公表
⇒ H30～ 水位周知河川について、順次作成予定

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒ H29.6～ 県管理河川減災対策協議会における防災情報の共有
- ・ 重要水防箇所での合同巡視
⇒ H30.5～ 県管理河川の重要水防箇所について合同巡視を予定
- ・ 水防資器材の保有状況の確認
⇒ 秋田県水防計画に基づく水防資器材の確保と数量の確認

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・ 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒ 大仙市と連携した福部内水門及び排水ポンプ車操作訓練を実施

H29年度の排水訓練及び情報伝達訓練(仙北)



排水ポンプ車(秋田県)

【配 備】
H23出水を契機に、H24年度に仙北地域振興局に配備

【規 格】
水中ポンプ式、30t/min



排水訓練状況



情報伝達訓練状況

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ 各機関で防災訓練等の実施の際は積極的に参加・協力させて頂きたい。

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の可能性」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

⇒ 防災気象情報については、機会あるごとに周知・広報を行い、利用促進に努める。また、危険度分布についても土砂災害警戒判定メッシュ情報の1kmメッシュ化等も計画中であり、情報の改良にも努めている。

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

各機関とのホットラインの継続について引き続き取り組んでいく。

⇒ 6月末で県内約80%の市町村担当者との情報交換を実施。残り20%についても現在日程調整中。

⇒ 各市町村首長訪問についても日程を調整中。

- ・重要水防箇所の手回し巡視

⇒ 日程等、都合がつけば参加をさせて頂きたい。

H30年度の取り組み実施予定（東北地方整備局）

■ハード対策

- 洪水氾濫を未然に防ぐ対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○堤防整備【継続実施】

⇒ 秋田市新波地区、大仙市福部羅地区、大仙市強首地区、大仙市寺館・大巻地区、大仙市中村・芦沢地区、大仙市間倉地区

○河道掘削【継続実施】

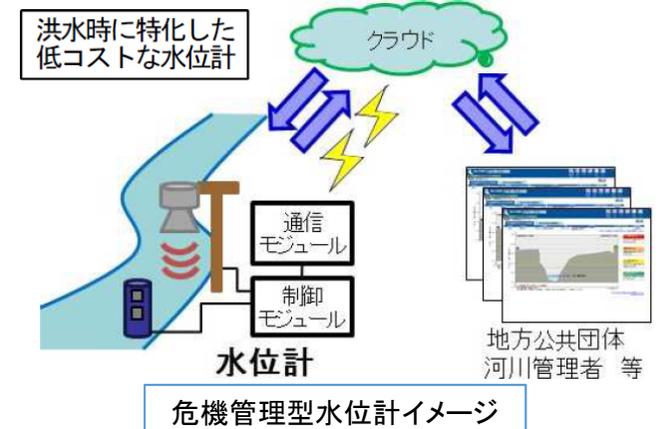
⇒ 秋田市小山・芝野地区

○簡易水位計等の基盤整備

⇒ 洪水に対してのリスクが高い区間に危機管理型水位計を設置

雄物川（秋田市内2基、大仙市内6基、横手市内5基、湯沢市内1基、羽後町内2基）

玉川（大仙市内1基）、皆瀬川（横手市内1基）、成瀬川（横手市内1基） 計19基



■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施

⇒ ロールプレイング演習の実施を予定（関係機関共同実施）

- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 各自治体の支援校において、防災教育資料の活用試行（関係機関共同実施）



H29ロールプレイング演習実施状況(左:横手市、右:湯沢河川国道)

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用

⇒ 平成29年7月・8月の大雨を踏まえたタイムラインの見直し（関係機関共同実施）



タイムラインの見直しイメージ

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・ 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒ ハザードマップ作成に必要な電子データを提供支援【継続実施】
- ・ 住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒ プッシュ型メールによる住民への情報提供及び周知広報を実施【継続実施】

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

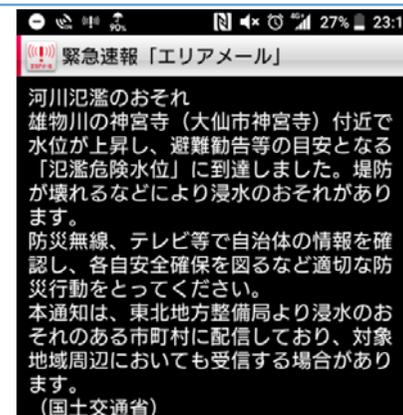
○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
⇒ 秋田県 情報集約配信システムによる情報共有【継続実施】
- ・ 重要水防箇所の合同巡視
⇒ 関係機関（水防団、各市町、秋田県、東北地方整備局）合同による重要水防箇所の点検を実施【継続実施】
- ・ 関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
⇒ 水防技術講習会 等の実施を検討（実施時期未定）【秋田河国】

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

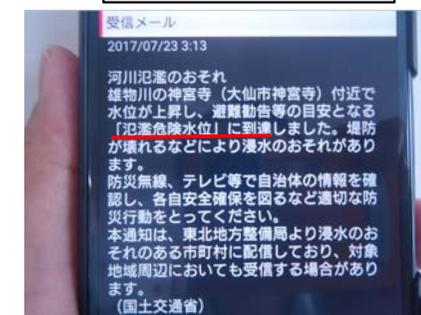
- ・ 関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒ 排水ポンプ車操作訓練を6月14日実施【秋田河国】
- ・ 排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成
⇒ 長期にわたり浸水が継続する地域において、地域社会をいち早く復旧させるための排水計画（案）を作成

H30.5.18配信されたプッシュ型メール
（大仙市神宮寺地区）



H29.7配信されたプッシュ型メール
（大仙市神宮寺地区）

（第1報）氾濫危険水位到達



H29重要水防箇所の合同点検（左：秋田市、右：横手市）

